

令和7年度

農地農業用施設災害復旧事業

36/210 高野田村農地

災害復旧工事 仕 様 書

事業主体 広島県庄原市

施行箇所 庄原市高野町和南原

特記仕様書

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、36/210 高野田村農地災害復旧工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和6年8月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
 - ※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第 2 節 適用除外

本工事では、土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。

- ・ 1-1-1-27, 1-1-2-20 週休二日の対応
- ・ 1-1-2-14 施工管理 1. 標示板の設置
- ・ 1-1-3-7 契約後 V E 工事
- ・ 1-1-3-9 県産木材の活用
- ・ 3-1-1-7 工事完成図書の納品 6. 地質調査の電子成果品等

第 3 節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等		特記仕様書第1章総則で読みかえる用語等	
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

第 4 節 災害復旧工事に係る緩和措置

本工事は、災害復旧工事に該当し、緩和措置については、次のとおり取り扱う。

- 1 現場代理人（請負金額が 4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満の場合に限る。）が、特記仕様書 第1章 総則 第5節「現場代理人の兼務」1に掲げる条件（（3）の条件を除く。）を満たすときは、同節の申請手続をすることなく、他の公共工事の現場における現場代理人又は主任技術者との兼務を認める。
- 2 請負代金額が 3,500万円未満の災害復旧工事等については、原則、評定の対象外とする。なお、変更契約により 3,500万円以上になった場合も評定の対象としない。
- 3 請負代金額が 5,000万円未満の工事については、中間検査を省略する。

第 5 節 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負代金額が 4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を申請することができる。

ただし、令和7年4月3日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあつては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。

 - （1） 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること
 - （2） 兼務する工事件数が本件工事を含め3件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること
 - （3） 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること
 - （4） 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、密接に関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められたものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。
 - （1） 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
 - （2） 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること
 - （3） 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、兼務の承認を取消すものとする。
 - （1） 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - （2） 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき
 - （3） その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

第 6 節

現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置要件の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。

一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。

 - (1) 下請契約金額の総額が 5,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
 - (2) 請負代金額 4,500万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。
 - (3) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満）は、この工事を含めて3件までとする。
 - (4) 請負金額が 4,500万円以上 1億円未満の工事で建設業法施行令第27条第2項が適用される工事にあつては、主任技術者が兼務できる工事件数は、この工事を含めて2件以内とする。
- 2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の誓約書の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。

「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。

 - (1) 請負代金額が 4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書。
 - (2) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、次の〔1〕又は〔2〕に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在3件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書。
 - 〔1〕 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上 9,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者
 - 〔2〕 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

第 7 節

情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第 8 節

工事関係書類の事前協議

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月 広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 9 節

遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

- 1 「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、積算基準書等の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。
営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- 2 受注者は、遠隔地から労働者を確保する場合、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。
- 3 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
- 5 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、積算基準書等に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- 7 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 8 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。
 - (1) 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合： 6.07%
 - (2) 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合： 1.38%

第 2 章 施工条件

第 1 節 工事用道路

1 仮設道路

安全施設
工事後の処置
維持管理内容

出入口に柵を設置すること。

原形復旧

粉じん防止の散水（随時）、路面補修のための補修材を必要とする場合は別途協議すること。

第 2 節 盛土

1 流用土（工事内流用）

本工事の施工により発生する土のうち、 890 m³（地山土量）については当該工事に流用するものと見込んでいる。

第 3 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
- 3 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

令和 7 年度

36/210 高野田村農地 災害復旧工事

庄原市 高野町 和南原

地内

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

工 事 費 計

積算情報

工事名	36/210 高野田村農地 災害復旧工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	農林 令和07年度
工種区分	ほ場整備工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 8年 1月 1日付 農林	単価地区	54:庄原市(旧高野町)
機損適用年月日	令和 7年度 農林	歩掛適用年月日	令和 7年 8月 農林

補正情報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 中山間地域 現場管理費 …………… 中山間地域
現場環境改善費	計上しない
冬期補正	設定区分無し
緊急工事補正	設定区分無し
前払支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	契約保証に係る補正を行わない

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ほ場整備工事01	1	式				
土工	1	式				処:
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3未満 押土無し 障害無し	920	m3			P 1号	
床掘り 土砂 小規模	14	m3			P 2号	
機械併用埋戻(小規模土工) 振動コンパクト() 砂質土	2	m3			単 3号	
路体(築堤)盛土・埋戻 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	790	m3			P 4号	
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 7.5km以下 DID区間無 刈付損耗費(良好)含む	140	m3			P 5号	
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 刈付(有)毛無山建設発生土受入地 受入地 庄原市高野町	140	m3				処:
法面工	1	式				
法面整形 盛土部 粘質土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め無し 現場制約無し	340	m2			P 6号	
植生シート工(標準品) 施工規模250～500m2未満 時間制約無	370	m2			施 7号	
畦畔復旧	24	m			施 8号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土留工	1	式				
ふとんかご 設置 階段式 50cm x 120cm	48	m			P 9 号	
止杭打込	24	本			P 10 号	
水路工	1	式				
暗渠排水工 50 (0.3m x 0.3m)	23	m			単 11 号	
撤去工	1	式				処:
構造物とりこわし工 無筋構造物 人力施工 昼間 時間制約無	14	m3			施 12 号	
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 28.4km以下 DID区間無 夕作損耗費(良好)含む	14	m3			P 13 号	
再資源化施設受入費 コ块(無筋) 10t,4t,2t (株)三好建材 君田碎石場 三次市君田町	34	t				処:
仮設工	1	式				
掘削 小規模 土砂 標準以外	9	m3			P 14 号	
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3未満 押土無し 障害無し	100	m3			P 1 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	9	m3			P 15 号	
工事用道路(盛土) W=2.5m 敷砂利 t=10cm	85	m			単 16 号	
敷鉄板設置	507	m2			施 17 号	
敷鉄板撤去	507	m2			施 18 号	
敷鉄板賃料 22×1524×3048(mm) 供用日数44日	111	枚			施 19 号	
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(積上げ)	1	式				
運搬費	1	式				
仮設材の運搬 運搬距離10km 往復計上	89.02	t			施 24 号	
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				中山間地域

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				中山間地域
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要としない
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

【 第 1 号 施工パッケージ 】							
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3未満 (押土無し , 障害無し)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			42.72				
バックホ(加-5)[標準・超低騒音型・排対型:3次] 標準バックホ 山積0.8m3[平積0.6m3]			42.72				
【労務】			37.91				
運転手(特殊)			37.91				
【材料】			19.37				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			19.37				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 土質 土砂				[J2] = 1 施工方法 オープンカット			
[J4] = 2 押土の有無 押土無し				[J5] = 1 障害の有無 障害無し			
[J6] = 3 施工数量 5,000m3未満							

【 第 2 号 施工パッケージ 】							
床掘り 土砂 小規模							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			18.73				
バックホ(クロー型)[後方超小旋回型・排対:2次] 標準バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]			18.73				
【労務】			74.16				
運転手(特殊)			40.26				
普通作業員			33.90				
【材料】			7.11				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			7.11				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂				[J2] = 5 施工方法 上記以外(小規模)			

【 第 3 号 単価表 】						
機械併用埋戻(小規模土工) 振動コパ [®] ク() (砂質土 ,)						1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	1.1	m3			P 15 号	
埋戻 人力まき出し 砂・砂質土 振動コパ [®] ク(区分)	1	m3			施 20 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						

【 第 4 号 施工パッケージ 】							
路体(築堤)盛土・埋戻 4.0m以上 20,000m3未満 (障害無し ,)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			17.31				
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排対型1,2次基準 低騒音			10.87				
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排対型1,2,3次 低騒音			6.44				
【労務】			67.71				
運転手(特殊)			46.57				
普通作業員			21.14				
【材料】			14.98				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			14.98				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 施工幅員 4.0m以上 [J5] = 1 障害の有無 障害無し				[J4] = 1 施工数量 20,000m3未満			

36/210 高野田村農地災害復旧工事

【 第 5 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 (7.5km以下 DID区間無 , 夕俵損耗費(良好)含む)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			26.52				
ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 4t積級			26.52				
【労務】			61.90				
運転手(一般)			61.90				
【材料】			11.58				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			11.58				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 2 土砂等発生現場 小規模				[J2] = 5 積込機種・規格 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)			
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)				[J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無			
[JD] = 9 運搬距離 7.5km以下							

【 第 6 号 施工パッケージ 】							
法面整形 盛土部 土質土、砂及び砂質土、粘性土 (法面締固め無し , 現場制約無し)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			11.87				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014			11.87				
【労務】			75.95				
普通作業員			33.62				
運転手(特殊)			28.67				
土木一般世話役			13.66				
【材料】			12.18				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			12.18				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 整形箇所 盛土部				[J2] = 2 法面締固めの有無	法面締固め無し		
[J3] = 2 現場制約の有無 現場制約無し				[J4] = 2 土質	土質 土質土、砂及び砂質土、粘性土		

【 第 7 号 施工単価表 】						
植生シート工(標準品) 施工規模250～500m2未満 (時間制約無 ,)						1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 植生工(人力施工) 植生シート工 肥料袋無(標準品) 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 工種 植生シート工(標準品)			[B] = 3 施工規模	施工規模250～500m2未満		
[C] = 1 時間制約 時間制約無						

【 第 8 号 施工単価表 】						
畦畔復旧						10 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
バックホウ運転(賃料) 加-ラ型 山積0.45m ³ (平積0.35) 排対型:1次基準		日				
普通作業員		人				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [Xc] = 2 バックホウ規格区分 排対型:1次基準						

【 第 9 号 施工パッケージ 】

ふとんかご 設置 階段式 50cm×120cm

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			5.35				
バックホ(クロー型)[標準型・排対型:3次基準] 標準バックホ 山積0.8m3[平積0.6m3]			5.35				
【労務】			33.16				
普通作業員			18.32				
特殊作業員			5.44				
運転手(特殊)			5.31				
土木一般世話役			4.09				
【材料】			61.49				
角形じゃかごパネルタイプ GS-3,線径4.0(#8) 網目13cm,高50cm,幅120cm			29.14				
割ぐり石 200~150mm			23.46				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			2.23				
その他(材料)							

【 第 10 号 施工パッケージ 】

止杭打込

1 本 当 り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			72.78				
普通作業員			72.78				
【材料】			27.22				
<杭丸太>松・カラ松 長さ1.5m×末口9cm,皮付 1・2等込			27.22				
【端数調整】							

【 第 12 号 施工単価表 】						
構造物とりこわし工 無筋構造物 人力施工 (昼間 時間制約無 ,)						1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_無筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし 構造物とりこわし工	1	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 構造物区分 無筋構造物			[B] = 2 工法区分 人力施工			
[C] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			[D] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			

【 第 13 号 施工パッケージ 】							
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 1 m3 当り (28.4km以下 DID区間無 , 夕俵損耗費(良好)含む)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			40.77				
ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 10t積級			40.77				
【労務】			44.82				
運転手(一般)			44.82				
【材料】			14.41				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			14.41				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 殻発生作業 コンクリート(無筋)構造物とりこわし				[J2] = 1 積込工法区分 機械積込			
[J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無				[JG] = 9 運搬距離 28.4km以下			

【 第 14 号 施工パッケージ 】							
掘削 小規模 土砂 標準以外							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.13				
小型バ ックホ(ク-ラ)[標準・排対:2次] 標準バ ックホ 山積0.13m3[平積0.10m3]			20.13				
【労務】			71.97				
運転手(特殊)			71.97				
【材料】			7.90				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			7.90				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J6] = 8 施工数量 標準以外				[J2] = 5 施工方法 上記以外(小規模)			

【 第 15 号 施工パッケージ 】							
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.13				
小型バ ックホ(ク-ラ)[標準・排対:2次] 標準バ ックホ 山積0.13m3[平積0.10m3]			20.13				
【労務】			71.97				
運転手(特殊)			71.97				
【材料】			7.90				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			7.90				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 5	作業内容 小規模(標準以外)			

【 第 17 号 施工単価表 】

敷鉄板設置

1,000 m2 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クレーン機能付)運転(賃料) 加-ラ型 山積0.8m3(平積0.6) 排対型:2次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [Xc] = 3 ハック杓規格区分 排対型:2次基準						

【 第 18 号 施工単価表 】

敷鉄板撤去

1,000 m2 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クレーン機能付)運転(賃料) 加-ラ型 山積0.8m3(平積0.6) 排対型:2次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [Xc] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準						

【 第 19 号 施工単価表 】						
敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048(mm)						1 枚 当り
(, 供用日数44日)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
(賃料)鋼板 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 90日以内	1	枚				
(賃料)鋼板 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 整備費	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 敷鉄板の種類 22 × 1524 × 3048(mm)			[B] = 44.000 日		供用日数	
[C] = 1 整備費の有無 有			[D] = 0.000 t		不足分弁償金数量	

【 第 20 号 施工単価表 】						
埋戻 人力まき出し (砂・砂質土 , 振動コパ [®] ㌘(区分))						10 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸 雑 費 (率 + 丸め)						
締固め労務費の%		%				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 作業・施工区分 埋戻 人力まき出し		[B] = 1	土質区分 砂	砂質土		
[C] = 5 締固め区分 振動コパ [®] ㌘(区分)						

【 第 21 号 施工パッケージ 】							
暗渠排水管 据付 波状管 50～150mm (継手材料費要 ,)							1 m 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			29.00				
普通作業員			19.90				
土木一般世話役			9.10				
【材料】			71.00				
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) 内面平滑管(有孔・無孔) 呼び径50mm <ダブル構造>			71.00				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 作業区分 据付				[J2] = 3 管種別 波状管			
[J3] = 1 呼び径 50～150mm				[J4] = 1 継手材料費 要			

【 第 22 号 施工パッケージ 】

フィルター材 再生クラッシャー RC-40

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			15.92				
バックホ(加-ラ)[後方超小旋・超低クレーン・排2014] 標準バックホ 山積0.5m3[平積0.4m3]2.9t吊			15.61				
その他(機械)							
【労務】			59.88				
普通作業員			27.92				
運転手(特殊)			14.15				
土木一般世話役			12.76				
特殊作業員			3.88				
その他(労務)							
【材料】			24.20				
再生クラッシャー 40~0mm			19.75				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			4.37				

【 第 23 号 施工単価表 】						
砂利舗装工(機械) バックホウ敷均し 仕上り厚10cm (舗装面仕上げ無し ,)						100 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
再生クラッシャー 40~0mm	11.6	m3				
バックホウ運転 加-ラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 敷均し区分 バックホウ敷均し		[B] = 10.000 cm	仕上り厚さ			
[C] = 1 作業内容区分 敷均し		[D] = 1	舗装面仕上げ区分 舗装面仕上げ無し			
[X2] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準						

【 第 24 号 施工単価表 】

仮設材の運搬 運搬距離10km 往復計上

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
仮設材輸送運賃料金 10kmまで 製品長12m以内	2	t				
積卸し費 積込・取卸	1	t				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [C] = 10.000 km 運搬距離			[D] = 1 製品長 12m以内			
[E] = 1 運搬費の計上区分 往復計上 [F1] = 3 敷鉄板の積卸し区分 計上しない [H] = 0.000 深夜早朝割増率			[F] = 2 仮設材(敷鉄板除く)の積卸し区分 [G] = 0.000 冬期割増率		基地又は現場積込・取卸	

36/210 高野田村農地

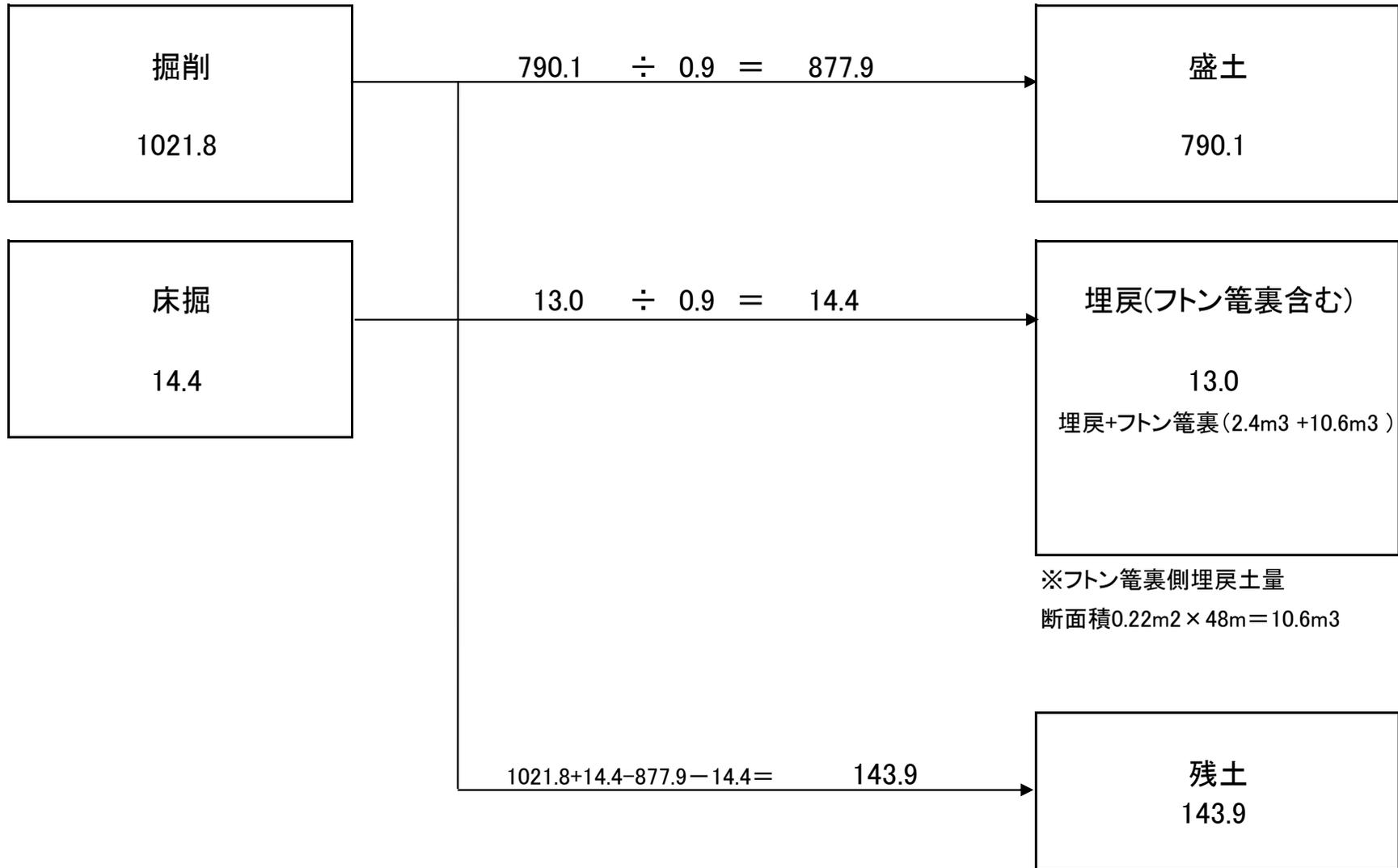
数量計算書

数量一覧表

36/210 高野田村農地

名 称	形 状・寸 法 等	単 位	数 量		備 考
			実 施	変 更	
土 工					
掘 削	バックホウ0.8m3	m3	919.3		
床 堀	バックホウ0.2m3	m3	14.4		
埋 戻	振動コンパクタ(I)	m3	2.4		
盛 土	振動ローラ	m3	790.1		
法 面 工					
畦畔築立		m	24.0		
法面整形		m2	343.7		
張芝工		m2	366.2		
土 留 工					
フトン籠	G-3, 線径4.0 (#8)網目13cm 高さ50cm, 幅120cm	m	48.0		
杭	松丸太及び杉丸太 末口9cm L=1.5m	本	24.0		
暗渠排水工	PP φ50	m	22.5		
撤去工					
Co撤去	無筋	m3	14.3		
Co運搬		m3	14.3		
Co殻処分		m3	33.6		14.3×2.35
【運搬・処分工】					
残土運搬		m3	143.9		
残土処分		m3	143.9		

土量配分表



計第 1 表														備 考		
土 工		数 量 計 算 書														
種別 番号	距 離	掘			削			床 堀			埋 戻			盛 土		
		A	平均	m3	A	平均	m3	A	平均	m3	A	平均	m3			
NO.0		4.9			0.6			0.1			11.0					
+2.0	2.0	41.4	23.15	46.3	0.6	0.60	1.2	0.1	0.10	0.2	31.2	21.10	42.2			
+13.0	11.0	37.4	39.40	433.4	0.6	0.60	6.6	0.1	0.10	1.1	36.8	34.00	374.0			
+24.0	11.0	35.8	36.60	402.6	0.6	0.60	6.6	0.1	0.10	1.1	26.2	31.50	346.5			
+26.0	2.0	1.2	18.50	37.0							1.2	13.70	27.4			
合 計	26.0			919.3			14.4			2.4			790.1			

計第 2 表													備考	
法 面 工		数 量 計 算 書												
種別 番号	距離	畦 畔 築 立			法 面 整 形			張 芝 工						
				m	SL	平均	m2	SL	平均	m2				
NO.0					7.5			8.3						
+2.0	2.0				15.0	11.25	22.5	15.9	12.10	24.2				
+13.0	11.0			11.0	14.0	14.50	159.5	14.8	15.35	168.9				
+24.0	11.0			11.0	12.9	13.45	148.0	13.8	14.30	157.3				
+26.0	2.0			2.0	0.8	6.85	13.7	2.0	7.90	15.8				
合 計	26.0			24.0			343.7			366.2				

計第 3 表													備考
土留工		数量計算書											
種別 番号	距離	フ ト ン 籠			杭			暗 渠 排 水 工					
			段数	m			本			m			
		1.0											
NO.0		1.0											
+2.0	2.0	1.0	2.0	4.0			2.0			11.0			
+13.0	11.0	1.0	2.0	22.0			11.0						
+24.0	11.0	1.0	2.0	22.0			11.0			11.5			
+26.0													
合 計	24.0			48.0			24.0			22.5			

計第 5 表 仮設工 数量計算書														備考
種別 番号	距離	仮設道路(表土)			仮設道路(掘削)									
		A	平均	m3	A	平均	m3							
A-A		0.6			0.0									
B-B	8.4	0.6	0.60	5.0	12.2	6.10	51.2							
	2.3	0.6	0.60	1.4	12.2	12.20	28.1							
C-C	3.8	0.6	0.60	2.3	0.0	6.10	23.2							
合計	14.5			8.7			102.5							